



# Chitose Rotary Club

藤本会長方針  
「学びと実践」

会長 藤本 敏廣 副会長 五十嵐 宏 幹事 五十嵐 桂一  
会長エレクト 沼田 常好 会計 藤川 俊一  
第2510地区ガバナー 羽部 大仁 第7グループ・ガバナー補佐 菊池 重敏

ロータリー創立日 1905年2月23日  
千歳RC創立日 1967年4月26日

～10月は職業奉仕・米山月間～

本日の例会(10月9日 第15回) 通常例会

担当: 環境保全委員会

## 第14回(通算2342回)地区大会参加報告

日時: 2014年10月5日(日)

場所: ニトリ文化ホール・ロイトン札幌ホテル

プログラム: RI第2510地区 地区大会

担当: 三 役

司会: 該当なし

ロータリーソング、四つのテスト、友情の握手タイムは移動例会の為、割愛

今回の例会は、10月5日に札幌市で開催されました、RI第2510地区 2014-15年度地区大会へ振替えとなり、今回はその地区大会の様をお伝えします。

参加会員は5日7時30分にANAクラウンプラザホテル千歳に集合し、バスで札幌市の会場へ移動しました。



※左側から会場のニトリ文化ホールと地区大会の看板です。



※開催前の会員の皆さんの様子と、会場ホール内で販売されていたグッズ店舗です。

## 本会議の様子

司会 札幌南RC 原口庸洋さん 増田佳織 さんの司会で開始されました。

北海道知事 高橋 はるみ 様 ご挨拶



皆さま、おはようございます。只今ご紹介にあずかりました、北海道知事の高橋はるみです。「イランカラプテ」という言葉を皆様ご存知でしょうか? それは「あなたの心にそっと触

れさせて顶きます。」という思いが込められたアイヌの人たちの挨拶の言葉です。今、北海道庁はこの言葉を北海道のおもてなしの合言葉として広めていきたいと思っているところです。是非、皆さんにも覚えてもらい「イランカラプテ」と優しく言いましょ。

さて皆さま、今日は国際ロータリー第2510地区の地区大会に多くの皆様のご出席のもと、盛大に開催される事を心からお慶び申し上げます。私も昨年から引き続き皆さまとお会い出来、嬉しく思っています。また本日は韓国、そして台湾からもご来場を頂き、北海道知事として心からご歓迎申し上げます。また会員の皆さまには、羽部ガバナーのもと、青少年の健全育成や植樹などの環境保全活動を通じ、地域の発展に大きなご貢献を頂いているところでございまして、心からお礼を申し上げます。

さて、今、人口減少の急速な進行など社会を取り巻く環境が大きく変化していく中、「助け合い」や「支えあい」という人や地域のつながりの大切さが改めて重要視され認識されてきていると考えているところでございます。道庁におきましては地域の方々が共に支え合いながら安全安心を実感出来る地域社会を目指して自主防災組織の育成や子育て支援の充実など進めているところでございまして、こうした取り組みの実行にあたりましては故郷を愛し、地域の為に自ら行動される多くの方々の存在が欠かせないものと考えているところであります。こうした中、幅広い奉仕活動を通じ、各地のリーダー役として大きな役割を果たしてきておられますロータリークラブの皆さまへのご期待は益々高まってきているところと考えているところでございます。本日お集まりの方々には長年受け継いでこられた尊い奉仕の精神を大切にされ、それぞれの地域の個性が輝く元気な北海道を築いていく為に引き続きご理解ご協力を頂きますようお願いを申し上げます。終わりになりますが、本大会のご盛會と、ご成功、今日ご出席の皆さまの益々のご発展そしてご健勝を心から祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

よねやま親善大使 尤 銘煌 様



よねやま親善大使 尤 銘煌 さんは、2003-04年度米山奨学生として日本に留学され、現在、山形大学基盤教育院教授です。同大学で学ぶ外国人留学生へ日本語・日本文化を教え、国

## 出席率

今回: 68.9% (10月 5日=40/58、実数)  
確定: 94.7% ( 9月18日=54/57、うちMu0名)

際社会で活躍する人材を育成している方です、との紹介があり、米山親善大使としての活動が紹介されました。

## UNDP親善大使・女優・エッセイスト 紺野 美沙子 様



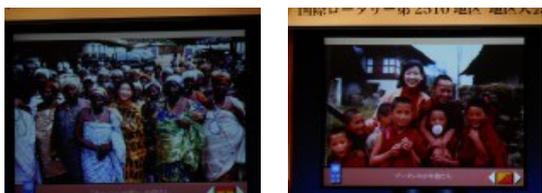
紺野 美沙子さんは子供の頃から朗読が好きで、小学5年生で演劇クラブに入り、その後の人生を決める。ヘレン・ケラーを育てた、アン・サリヴァンのような、厳しいがやさしい恩師に巡り合い、将来芝居をする人になれば良いなと思うようになり、今、女優業が35年を迎えたとの話から入りました。また、この世の中で大事なものは心穏やかに居られる場所がある事、自分が必要とされている事、自分が必要とされる居場所と役割があるという事も大事だと思います、と語られました。そして講演は本題に入ります。まず紺野 美沙子 さんがUNDPいわゆる国連開発計画とは何かについて語られました。



国連開発計画（UNDP）について簡単にご紹介致します。UNDPは国連機関の一つです。UNDPの活動というのは非常に多岐にわたっております。色んな活動を行っているところなので「何を行っている所ですか」と聞かれても私も一言ではお答えし辛いところがあります。UNDPの重点活動分野、危機予防と復興、民主的ガバナンス、エネルギーと環境、HIV/AIDSなど開発援助というのですが、皆さんもいろんなご支援をされていると思いますが、例えばカンボジアなどの発展途上国などが、国として他の国際機関、国連など他の国々やNPOの支援を受けずに、その国がその国として自立するまでの総合的な国づくり、人づくりを行っているのが国連開発計画です。

一つの国が自立するまでにはその国の政治の仕組み、根本的なもの支援を行っております。例えば、東ティモールの選挙制度をつくるお手伝いなどです。現在、177の国や地域で活動をし、グローバルな課題や国内の課題に対してそれぞれの国に合った解決策が見出せるよう取り組んでいます。特に力を入れているのは「ジェンダー」いわゆる女性の問題です。国によっては男女の格差があって女性であることを理由に教育が受けられない、満足な仕事に就くことが出来ないという事があります。そういう女性の為の識字訓練、職業訓練、貧しい女性の為にマイクロクレジット（無担保でお金を貸し付けてそのお金を元手に仕事を作る）というお手伝いもしています。このUNDPが行っている援助は「子育てに似ているなあ」と思っています。活動の内容は非常に地味で成果が出るまでは非常に忍耐が必要です。でも何よりも大切な仕事です。

（ここで、紺野さんが、カンボジア、パレスチナ、ブータン、ガーナ、東ティモール、ベトナム、モンゴル、タンザニア、パキスタンを公式訪問された時の活動がプロジェクターを使って紹介されました。）



結びに、16年間活動をして思うところですが、国際協力というのは被災地の支援とか、電車やバスの中でお年寄りや体の不自由な方に席を譲る事と同じ事だということです。自分以外の第三者、見知らぬ人に対して、関心を持ち、思いやりの気持ちを持つ事が大事なのです。国際協力でも地域の活動でも被災地の援助でも限られた時間の一部をみんなの為、誰かの為に使うという事が大事な事だと思います。小さな灯火を燃やして大きな灯火を燃やす、これがロータリーの精神だという事を聞きましたし、それが周りの笑顔を増やしていく、皆さんそれぞれがそれぞれの立場で出来る事を長く続けている事が大事だと思います。皆さん！一緒に頑張ってみましょう。今日は有り難うございました。～詳しくはホームページをご覧ください～

## 懇親会の様子

本会議終了後、ニトリ文化ホールからすぐ隣のロイトン札幌に移動して懇親会が行われました。



※羽部ガバナーのご挨拶があり、懇親会がスタートしました！



※会員の様子です。



※ステージ上では、千歳高校卒業の歌手JUNCOさんなどによる「北海道歌旅座」より演奏が行われました。

～詳しくはホームページをご覧ください～

## 千歳RAC第4回定例会参加報告

10月2日（木）19時より、ANAクラウンプラザホテル千歳にて千歳RAC第4回定例会が開催されました。R1第2510地区ローターアクト委員会委員長の坂井 治 様（千歳セントラルRC幹事）をはじめ、共同スポンサークラブの千歳RCより9名、千歳セントラルRCより4名、恵庭RCより3名の会員と、千歳RACからはメンバー8名が出席されました。



※挨拶をする北村会長、代理で幹事報告をする村山副幹事です。

定例会の内容は、現在、恵庭RCに在籍中で昨年度R1第2510地区ローターアクト地区代表の西村 英晃会員より「ローターアクトクラブについて」と題しての卓話を頂きました。アクトに入会したきっかけや、そこで得られた経験談が話された後、現会員へ入会の動機を尋ね、千歳RACのOBである、五十嵐幹事、喜多会員、前田会員に当時の状況や今後の課題をお話して頂くなど、アクトにとって実のある定例会となりました。

～詳しくはホームページをご覧ください～